

平成31年3月期第2四半期 決算短信補足資料

◇ 平成31年3月期 上期連結業績の総括	P.2
◇ 平成31年3月期 上期セグメント別連結業績	P.3
◇ 平成31年3月期 上期連結財政状態	P.4
◇ 平成31年3月期 上期連結業績のポイント	P.5
◇ 平成31年3月期 上期連結キャッシュ・フロー	P.6
◇ 平成31年3月期 通期連結業績計画	P.7
◇ 平成31年3月期 通期セグメント別連結業績計画	P.8
◇ 主力商品紹介	P.9

平成31年3月期 上期連結業績の総括

■売上高■

お客様の節約志向を背景に、競合他社との価格競争は激しくなり、ハム・ソーセージ部門や食肉事業の売上高が減少する一方、調理加工食品部門の売上高が、堅調に推移したことなどから、前年同期比0.4%の増収。

■営業利益■

主力のハム・ソーセージ部門の減収や、コンビニエンスストア向けの新工場の立ち上げに伴う初期コストの影響に加え、鶏肉の収益性が低下したことなどから、前年同期比△44.5%の減益。

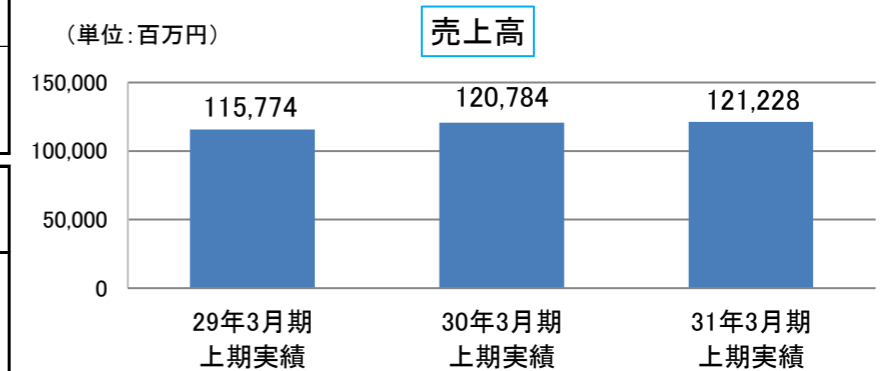
■親会社株主に帰属する四半期純利益■

営業利益が低調に推移したことなどの結果、前年同期比△47.0%の減益。

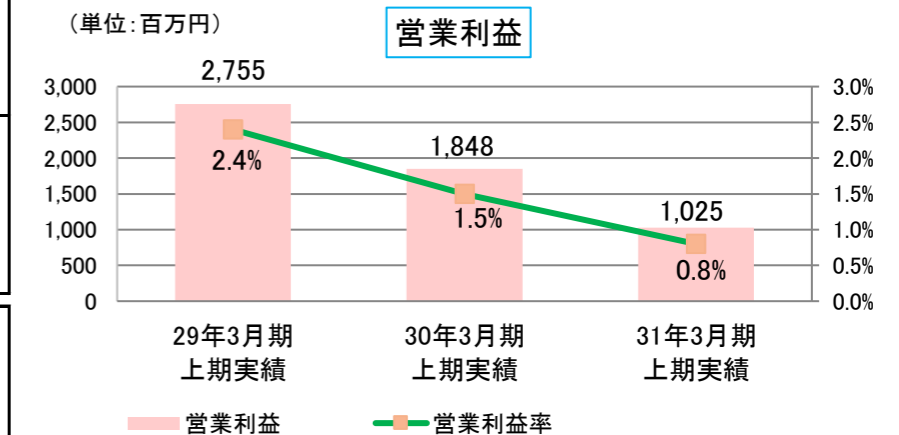
(単位:百万円)

	29年3月期 上期実績	30年3月期 上期実績	31年3月期 上期計画 ※1	31年3月期 上期実績				
				対前年 増減額	対前年 増減率	対計画 増減額	対計画 増減率	
売上高	115,774	120,784	125,000	121,228	443	0.4%	△ 3,771	△ 3.0%
営業利益 (売上高比率)	2,755 (2.4%)	1,848 (1.5%)	1,200 (1.0%)	1,025 (0.8%)	△ 822 (△ 0.7%)	△ 44.5%	△ 174 (△ 0.2%)	△ 14.5%
経常利益 (売上高比率)	3,025 (2.6%)	2,057 (1.7%)	1,400 (1.1%)	1,232 (1.0%)	△ 825 (△ 0.7%)	△ 40.1%	△ 167 (△ 0.1%)	△ 11.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高比率)	1,871 (1.6%)	1,203 (1.0%)	850 (0.7%)	637 (0.5%)	△ 566 (△ 0.5%)	△ 47.0%	△ 212 (△ 0.2%)	△ 25.0%
1株当たり 四半期純利益 ※2	71.22円	45.83円	33.31円	25.01円	△20.82円	-	△8.30円	-

(単位:百万円)



(単位:百万円)



※1 上期計画:平成30年5月14日発表連結業績予想

※2 当社は、平成30年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

平成31年3月期 上期セグメント別連結業績

(単位:百万円)

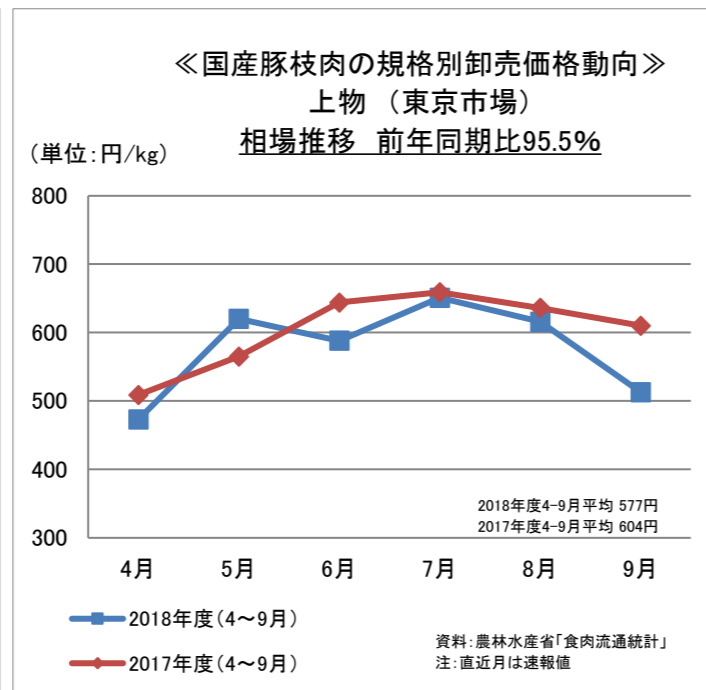
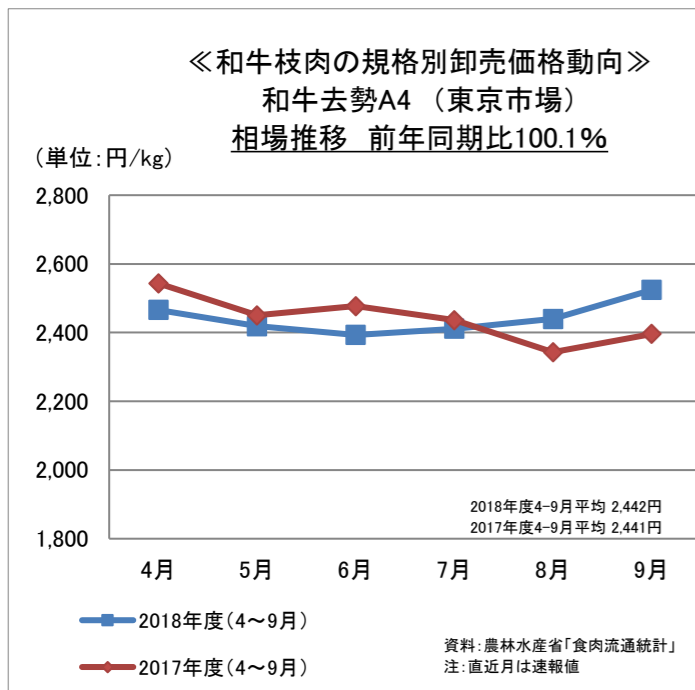
	29年3月期 上期実績	30年3月期 上期実績	31年3月期 上期実績	対前年	
				増減額	増減率
加工食品事業	82,292	83,660	84,803	1,143	1.4%
ハム・ソーセージ	43,383	43,004	40,241	△ 2,762	△ 6.4%
調理加工食品	38,908	40,656	44,562	3,905	9.6%
食肉事業	33,402	37,051	36,343	△ 707	△ 1.9%
その他	79	72	80	8	11.2%
売上高	115,774	120,784	121,228	443	0.4%
加工食品事業 (売上高比率)	1,790 (2.2%)	766 (0.9%)	210 (0.2%)	△ 555 (△ 0.7%)	△ 72.5% -
食肉事業 (売上高比率)	871 (2.6%)	1,011 (2.7%)	772 (2.1%)	△ 238 (△ 0.6%)	△ 23.6% -
その他	93	71	42	△ 28	△ 39.8%
営業利益 (売上高比率)	2,755 (2.4%)	1,848 (1.5%)	1,025 (0.8%)	△ 822 (△ 0.7%)	△ 44.5% -

■加工食品事業■

- ・ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」などの主力商品を中心に販促活動を実施したほか、「お料理ベーコン」や、「あらびきウインナー ミニオン」「フィッシュソーセージ ミニオン」などの新商品を投入し売上拡大を図る。中元ギフトは、「王覇」「煌彩」シリーズなどの拡販に努める。これらの施策を行うも、お客様の根強い節約志向を背景に、価格競争がますます激しくなったことなどにより、当部門の売上高は前年同期比△6.4%の減収。
- ・調理加工食品部門では、レンジ調理可能な個食の3袋入りタイプを投入した「スンドゥブ」シリーズや、「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズの売上高が堅調に推移したほか、「サラダチキン」シリーズが引き続き売上高に寄与。デザート・飲料類は、人気商品のブラックタピオカ飲料「TAPIOCA TIME」シリーズが大きく貢献し、好調に売上高を伸ばす。以上、当部門の売上高は前年同期比9.6%の増収。

結果、加工食品事業の売上高は前年同期比1.4%の増収。営業利益は、主力のハム・ソーセージ部門の減収やコンビニエンスストア向けの新工場立ち上げに伴う初期コストの影響などから前年を大きく下回り、前年同期比△72.5%の減益。

【資料:枝肉規格別卸売価格動向】



■食肉事業■

- ・牛肉は、輸入牛肉の販売数量・売上高ともに前年を下回るも、国産牛肉の販売数量を拡大し売上高を伸ばしたことなどにより、牛肉全体の売上高は前年を若干上回る。
- ・豚肉は、国産豚肉の販売数量・売上高ともに前年を下回るも、輸入豚肉の販売数量を拡大し売上高が前年を上回ったことなどにより、豚肉全体では前年並みの売上高を確保。
- ・鶏肉は、相場下落の影響などから販売数量及び売上高が前年を大きく下回る。

結果、食肉事業の売上高は前年同期比△1.9%の減収。営業利益は、鶏肉の収益性が低下したことなどから、前年同期比△23.6%の減益。

平成31年3月期 上期連結財政状態

(単位:百万円)

	30年3月期 第2四半期末	30年3月期 期末	31年3月期 第2四半期末	対前期末 増減額		30年3月期 第2四半期末	30年3月期 期末	31年3月期 第2四半期末	対前期末 増減額
	現金及び預金	13,031	8,709	8,085		△ 623	仕入債務	26,566	23,329
売上債権	30,824	29,048	31,810	2,762	有利子負債	14,317	14,915	19,957	5,042
たな卸資産	16,010	16,050	17,662	1,612	その他の負債	16,030	15,917	15,994	77
その他の資産	1,093	1,256	1,680	424	負債合計	56,915	54,162	61,206	7,044
流動資産合計	60,958	55,065	59,239	4,174	株主資本	71,850	70,815	70,254	△ 560
有形固定資産	54,183	56,135	57,714	1,578	その他の包括利益累計額	4,811	5,692	6,715	1,023
無形固定資産	1,338	1,774	2,424	650	非支配株主持分	446	476	484	7
投資その他の資産	17,543	18,171	19,281	1,110	純資産合計	77,108	76,984	77,454	469
固定資産合計	73,064	76,081	79,420	3,339	負債純資産合計	134,023	131,146	138,660	7,513
資産合計	134,023	131,146	138,660	7,513					

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

■設備投資・減価償却費の状況■

(単位:百万円)

	30年3月期 上期	30年3月期 通期	31年3月期 上期	対前年同期 増減額
	設備投資	5,438	10,850	5,482
減価償却費	2,703	5,688	3,084	381

■自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況■

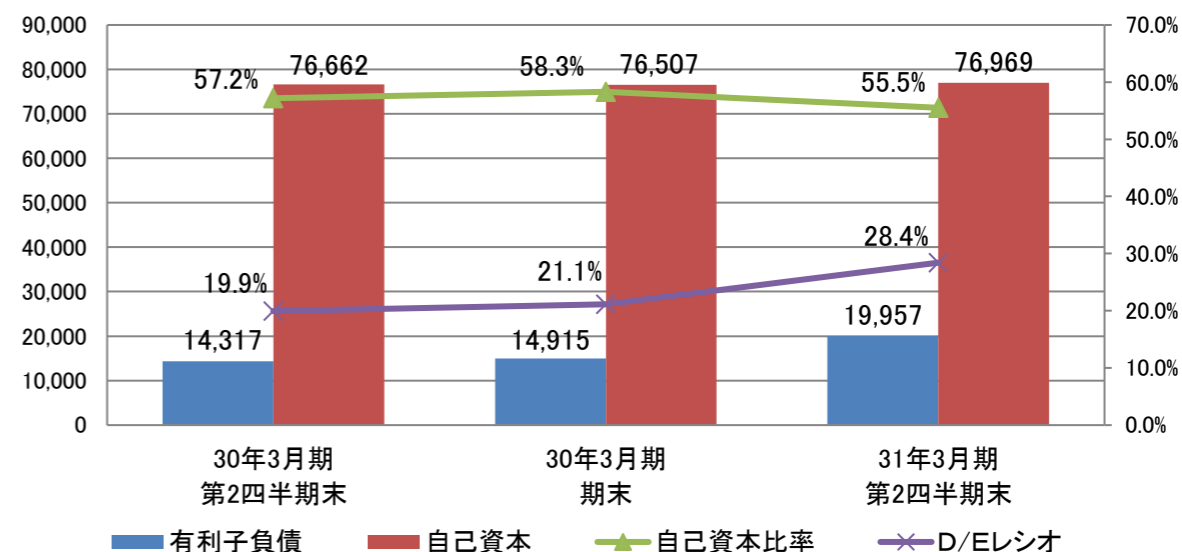
(単位:百万円)

	30年3月期 第2四半期末	30年3月期 期末	31年3月期 第2四半期末	対前期末 増減額
	自己資本	76,662	76,507	76,969
自己資本比率(%)	57.2%	58.3%	55.5%	△ 2.8%
D/Eレシオ(%)	19.9%	21.1%	28.4%	7.3%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

- ◆総資産は、売上債権や有形固定資産、投資有価証券が増加したことなどから、前期末比 7,513百万円増加。
- ◆負債は、有利子負債や仕入債務が増加したことなどから、前期末比 7,044百万円増加。
- ◆純資産は、剰余金の配当があるも、その他有価証券評価差額金の増加や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などから、前期末比 469百万円増加。
- ◆自己資本比率は、前期末比△2.8%低下、D/Eレシオは、7.3%上昇。
- ◆設備投資は、前年同期比 43百万円増加の 5,482百万円を実施。

(単位:百万円) 有利子負債・自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当会計基準等を遡って適用した後の数値で、平成30年3月期第2四半期末、平成30年3月期期末との比較・分析を行っております。

平成31年3月期 上期連結業績のポイント

増 減 要 因

(単位:百万円)

	29年3月期 上期実績	30年3月期 上期実績	31年3月期 上期実績		
				対前年 増減額	対前年 増減率
売 上 高	115,774	120,784	121,228	443	0.4%
売 上 総 利 益 (売上高比率)	27,505 (23.8%)	27,022 (22.4%)	26,737 (22.1%)	△ 284 (△ 0.3%)	△ 1.1% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	24,750 (21.4%)	25,173 (20.8%)	25,711 (21.2%)	538 (0.4%)	2.1% -
営 業 利 益 (売上高比率)	2,755 (2.4%)	1,848 (1.5%)	1,025 (0.8%)	△ 822 (△ 0.7%)	△ 44.5% -
営 業 外 損 益	270	209	206	△ 2	-
営業外収益	473	389	420	30	-
営業外費用	202	180	213	33	-
経 常 利 益 (売上高比率)	3,025 (2.6%)	2,057 (1.7%)	1,232 (1.0%)	△ 825 (△ 0.7%)	△ 40.1% -
特 別 損 益	△ 153	△ 45	△ 91	△ 46	-
特別利益	28	80	84	4	-
特別損失	181	125	176	50	-
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	2,872	2,012	1,140	△ 871	△ 43.3%
法 人 税 等 合 計	971	796	491	△ 304	-
四 半 期 純 利 益	1,900	1,215	649	△ 566	-
非支配株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	29	11	11	△ 0	-
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1,871	1,203	637	△ 566	△ 47.0%

■売上総利益■

コンビニエンスストア向けの新工場立ち上げに伴う初期コストの影響や、競合他社との価格競争がますます激しくなったことなどから、売上総利益率は、22.1%と前年同期比△0.3%低下し、△284百万円(前年同期比△1.1%)の減益。

■販売費及び一般管理費■

物流コスト上昇に伴う配送費 492百万円の増加(前年同期比3.6%)を主要因に、販管費全体では 538百万円(前年同期比2.1%)の増加。
対売上高比率は、21.2%と前年同期比0.4%の上昇。

(単位:百万円)

	29年3月期 上期実績	30年3月期 上期実績	31年3月期 上期実績		
				対前年 増減額	
人 件 費	6,084	5,819	5,602	△ 217	
配 送 費	12,929	13,623	14,115	492	
そ の 他	5,736	5,730	5,993	263	
合 計	24,750	25,173	25,711	538	

■営業外損益■

(単位:百万円)

	29年3月期 上期実績	30年3月期 上期実績	31年3月期 上期実績		
				対前年 増減額	
受 取 利 息 ・ 配 当 金	170	139	164	24	
そ の 他	302	250	256	6	
営 業 外 収 益 計	473	389	420	30	
支 払 利 息	103	91	106	14	
そ の 他	99	88	107	19	
営 業 外 費 用 計	202	180	213	33	

■特別損益■

(単位:百万円)

	29年3月期 上期実績	30年3月期 上期実績	31年3月期 上期実績		
				対前年 増減額	
固 定 資 産 処 分 益	24	80	5	△ 74	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	3	-	78	78	
特 別 利 益 計	28	80	84	4	
固 定 資 産 処 分 損	157	109	91	△ 18	
減 損 損 失	24	15	27	11	
そ の 他	-	0	58	57	
特 別 損 失 計	181	125	176	50	

平成31年3月期 上期連結キャッシュ・フロー

■営業活動によるCF■

運転資金の増加による減少要因があるも、減価償却費の計上や税金等調整前四半期純利益の計上などから、1,563百万円増加。

■投資活動によるCF■

固定資産や投資有価証券の売却による収入があるも、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産取得による支出などから、△4,756百万円減少。

■財務活動によるCF■

配当金の支払いがあるも、有利子負債の増加などから2,569百万円増加。

(単位:百万円)

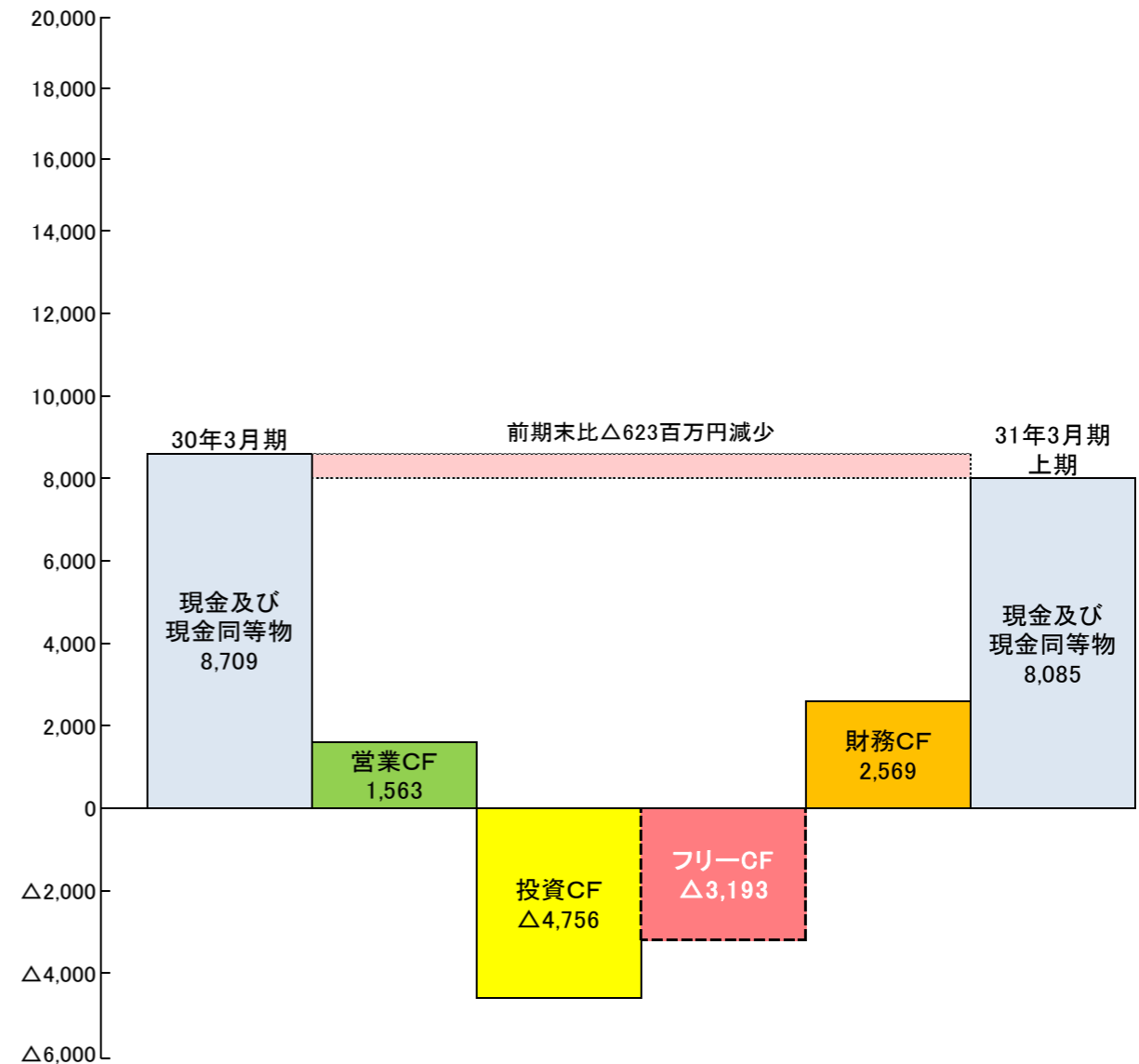
	30年3月期 上期実績	31年3月期 上期実績	対前年 増減額
営業活動によるCF	1,905	1,563	△341
投資活動によるCF	△3,097	△4,756	△1,659
フリー・キャッシュ・フロー※1	△1,192	△3,193	△2,000
財務活動によるCF	△2,147	2,569	4,716
現金及び現金同等物の増減額※2	△3,339	△623	2,715
現金及び現金同等物残高	13,031	8,085	△4,945

■平成31年3月期上期連結キャッシュ・フローの主な内訳■

(単位:百万円)

	30年3月期 上期実績	31年3月期 上期実績	対前年 増減額
◆営業活動によるCF◆			
・税金等調整前四半期純利益	2,012	1,140	△871
・減価償却費	2,703	3,084	381
・運転資金	△2,872	△2,426	445
・その他	62	△234	△297
◆投資活動によるCF◆			
・固定資産の取得による支出	△3,624	△5,017	△1,392
・固定資産の売却による収入	603	162	△441
・その他	△77	97	174
◆財務活動によるCF◆			
・有利子負債増減	△822	3,770	4,592
・配当金の支払額	△1,049	△1,019	30
・その他	△275	△182	93

(単位:百万円)



※1 フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

※2 現金及び現金同等物の増減額には現金及び現金同等物の増減額に係る換算差額を含む。

平成31年3月期 通期連結業績計画

- ・当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指す。
- ・「基幹事業の拡大と次なる柱の育成」「商品開発力、技術力の強化」「ローコスト経営の促進」「人材の育成」「社会的責任の遂行」の基本方針を軸に企業活動を推進。

〔平成31年3月期下期の当社グループを取り巻く環境〕

- ・海外経済の不確実性による先行き懸念や為替相場の変動による影響、国内の人手不足の問題や物流・動力費の上昇などに加え、お客様の節約志向の一段の高まりを背景とした競合他社との価格競争が、ますます激しくなることが想定され、下期も先行き不透明で厳しい状況が続く見通し。

〔通期業績計画〕

- ・平成31年3月期通期連結業績計画は、平成30年5月14日に公表の計画を以下の通り修正。

■通期見通し■

(単位:百万円)

	29年3月期			30年3月期			31年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	対前年同期増減額	対前年同期増減率	通期計画	対前年増減額	対前年増減率
売上高	115,774	116,662	232,436	120,784	118,801	239,586	121,228	123,771	4,969	4.2%	245,000	5,413	2.3%
営業利益 (売上高比率)	2,755 (2.4%)	1,955 (1.7%)	4,710 (2.0%)	1,848 (1.5%)	521 (0.4%)	2,370 (1.0%)	1,025 (0.8%)	1,374 (1.1%)	852 (0.7%)	163.5% -	2,400 (1.0%)	29 (0.0%)	1.3% -
経常利益 (売上高比率)	3,025 (2.6%)	2,352 (2.0%)	5,378 (2.3%)	2,057 (1.7%)	762 (0.6%)	2,820 (1.2%)	1,232 (1.0%)	1,617 (1.3%)	854 (0.7%)	112.0% -	2,850 (1.2%)	29 (0.0%)	1.0% -
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高比率)	1,871 (1.6%)	1,412 (1.2%)	3,284 (1.4%)	1,203 (1.0%)	638 (0.5%)	1,842 (0.8%)	637 (0.5%)	862 (0.7%)	224 (0.2%)	35.1% -	1,500 (0.6%)	△ 342 (△ 0.2%)	△ 18.6% -
1株当たり 当期純利益	71.22円	53.76円	124.98円	45.83円	24.56円	70.39円	25.01円	33.89円	9.33円	-	58.90円	△ 11.49円	-
1株当たり配当金	-	-	8円	-	-	8円	-	-	-	-	35円	-	-

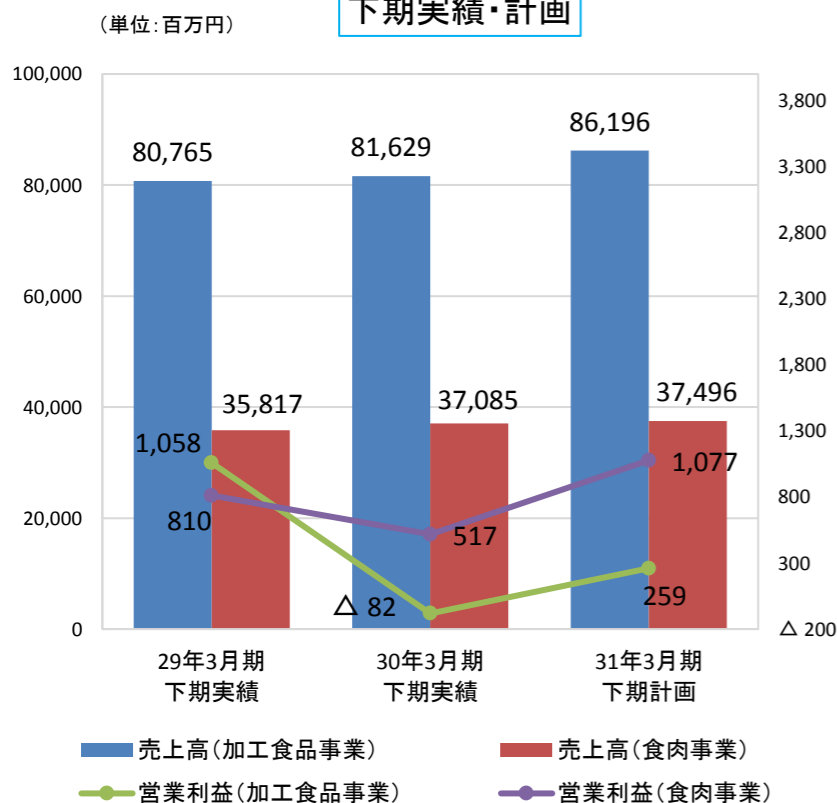
※当社は、平成30年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。
1株当たり当期純利益と平成31年3月期通期計画の1株当たり配当金は、株式併合の影響を考慮しております。

平成31年3月期 通期セグメント別連結業績計画

(単位:百万円)

	29年3月期			30年3月期			31年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	対前年同期増減額	対前年同期増減率	通期計画	対前年増減額	対前年増減率
加工食品事業	82,292	80,765	163,057	83,660	81,629	165,290	84,803	86,196	4,566	5.6%	171,000	5,709	3.5%
食肉事業	33,402	35,817	69,219	37,051	37,085	74,136	36,343	37,496	410	1.1%	73,840	△ 296	△ 0.4%
その他	79	81	160	72	87	159	80	79	△ 7	△ 9.1%	160	0	0.1%
売上高	115,774	116,662	232,436	120,784	118,801	239,586	121,228	123,771	4,969	4.2%	245,000	5,413	2.3%
加工食品事業 (売上高比率)	1,790 (2.2%)	1,058 (1.3%)	2,848 (1.7%)	766 (0.9%)	△ 82 (△ 0.1%)	683 (0.4%)	210 (0.2%)	259 (0.3%)	342 (0.4%)	-	470 (0.3%)	△ 213 (△ 0.1%)	△ 31.3% -
食肉事業 (売上高比率)	871 (2.6%)	810 (2.3%)	1,682 (2.4%)	1,011 (2.7%)	517 (1.4%)	1,528 (2.1%)	772 (2.1%)	1,077 (2.9%)	560 (1.5%)	108.4%	1,850 (2.5%)	321 (0.4%)	21.1% -
その他	93	85	179	71	87	158	42	37	△ 49	△ 57.2%	80	△ 78	△ 49.4%
営業利益 (売上高比率)	2,755 (2.4%)	1,955 (1.7%)	4,710 (2.0%)	1,848 (1.5%)	521 (0.4%)	2,370 (1.0%)	1,025 (0.8%)	1,374 (1.1%)	852 (0.7%)	163.5%	2,400 (1.0%)	29 (0.0%)	1.3% -

下期実績・計画



■加工食品事業■

- ・主力商品を中心とした販促活動と新商品育成。
- ・歳暮ギフトは「王覇」「煌彩」シリーズを中心に拡販。
- ・「サラダチキン」シリーズや「スンドゥブ」シリーズ・各種レトルト商品の拡充。
- ・デザート・飲料類は新商品、季節商品を拡充。
- ・コンビニエンス向け新工場の稼働拡大。

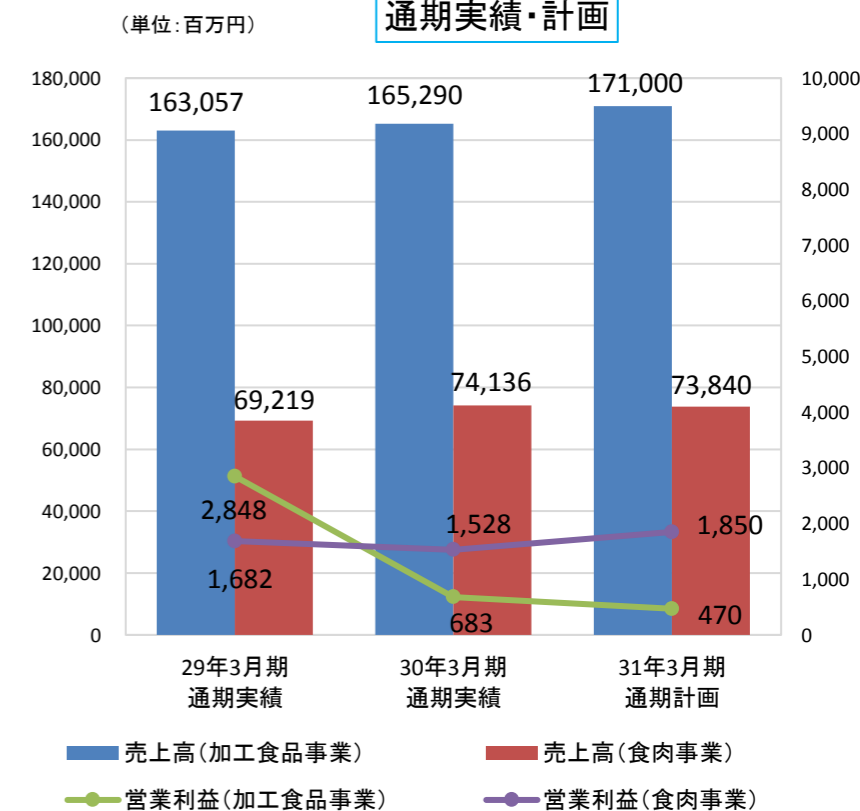
加工食品事業の通期業績は、売上高3.5%増、営業利益△31.3%減を計画。

■食肉事業■

- ・産地やブランドによる付加価値訴求。
- ・業務用食肉の販路拡大。
- ・食肉加工品の拡充。

食肉事業の通期業績は、売上高△0.4%減、営業利益21.1%増を計画。

通期実績・計画





加工食品

調理加工食品部門

丸大食品

SINCE 1961
MONDE SELECTION
BRUXELLES
INTERNATIONAL QUALITY FESTIVAL
2018
GOLD AWARD

熟成ならではの旨み
ジューシーな味わい

熟成
燻製屋
熟成あらびき
ポークウィンナー

MONDE SELECTION
2018
最高金賞
王覇
ホワイルースハム
熟成

MONDE SELECTION
2018
最高金賞
王覇
ホワイルースハム
熟成

燻製屋熟成あらびきウィンナー

名匠
特撰あらびき
ポーク

270g

要冷蔵

MINION
MINION
MINION
MINION

あらびきウィンナー
ミニオン
MINION

要冷蔵

MINION
MINION
MINION
MINION

ミニオン
MINION

要冷蔵

TM & © Universal Studios

丸大食品

お料理ベーコン

ベーコンのうまみでおいしいお料理

切らずにそのままお料理に使えます。

要冷蔵

MONDE SELECTION
2018
最高金賞
王覇
ホワイルースハム
熟成

MONDE SELECTION
2018
最高金賞
王覇
ホワイルースハム
熟成

煌彩
直火焼焼豚

煌彩
ローズハム
特撰

煌彩
あぶり焼ハーブローフ

煌彩
黒胡椒ミートローフ

煌彩
生ハムローズ

MONDE SELECTION
2018
最高金賞

韓国家庭料理
ごはんのおかず

スンドゥブ

豆腐があれば
すぐできる

2017年スンドゥブの
売上No.1

3袋タイプ新登場!!

スンドゥブ

美
参鶏湯

要冷蔵

サラダチキン
プレーン

要冷蔵

サラダチキン
切落し

要冷蔵

香味野菜の
コクと旨みの
こだわりの一品

ビストロ倶楽部

EMIAL
TAPIOCA TIME
デザートドリンク

タピオカ
タイム

もちもち楽しい!

EMIAL
からまる
プリン

からまるプリン

ぷるぷるカットプリンに
からまるソース

EMIAL
Dolce
cafe

スイーツを食べたような
贅沢感、満足感!



mm 丸大食品

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。